







重 長 議 進 備 調 順 が リ く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 進 備 調 順 が リ く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 備 調 順 が リ く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 調 順 が リ く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 順 が リ く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 が リ く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 リ く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 く づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 づ 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 国 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 は で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 で 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 問 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 談 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 会 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 の の と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 と 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 相 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 首 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 。 ン 長 様 議 重 了 終  
 ン 長 様 議 重 了 終  
 長 様 議 重 了 終  
 様 議 重 了 終  
 議 重 了 終  
 重 了 終  
 了 終  
 終







高いてをす交に長すもこな修員同たの予力、お指評、  
 崇なにま間まを中総ま在ど酷を委。つ動猶努  
 で来典り時葉務務は現は過裂解すか活のこ  
 の中出式至だて言任事かは業の龜和ま良濟刻い  
 のの立にんっので連浮ん作でな実いて経一な  
 社会と、会をに喜ッ口た皆国立様容れと定はえ  
 際す、にち史心にダメぶの建独る受さに安も絶  
 国が欠つにき強とバデも国すがにん評生活の、の  
 本、は生べもとで・今ルます中さく政善さす。そう  
 日に、に誕す今脳中ラ、一りでの皆高日、改皆す。基礎て一すラ層  
 、め。年の念、首のエがモあの民。も毎はの。の信イ直ア一  
 はたす二国記は国争イ顔イにも国んでのに状す。の衛隊モしのたに同  
 とくま立の激各戦ヴなテ中うずせ社会民め現まをくと東マ・さん  
 こいい独の感のク・か東の伴ま社国た。い敬意をぶだ、利益の皆。自  
 るてて二のの加ラオや、難を、り際般るす思の国の重論ん。員せ本  
 すしし、初モ時参イジれで苦勞とな国一れでとからルて議さす議ま日  
 援た信は最イの典後ル晴方な苦るば、がら欠いからルて議さす議ま日  
 支果確私紀テこ式のセの一変なえれは、立め可な心一めな皆まのれで通  
 ををとて世東た、そ代表し大変考け業独止不れ、モわ発のい会らまをり  
 国割だし一。しに、し代か、大をな作、けがさしイき活民て議いれどくし  
 建設務そ十た有時し死別しおも況しのに受上許対テはる国し民はこなづ  
 のな責二し共同わ横特なで状復会時と向もに東割けす価国に力国主限そはの  
 がし党期た舵否験すきし



あ 長日、当後、交が安す。議来う、  
 も ヨ会とも、問このいま将よ、  
 と ジ議たと一。に員、一い議いす  
 こ ウ民しとモす機議りモて国民近ま  
 き ラ国足長イしま契くなイ、とさ  
 べ アル発議テしを広とテ期待ひ問  
 ぶ ・一がヨ東表問、の東期待ひ問  
 学 デモ盟ジレを訪りもはよりはぜ訪  
 が ・イ連ウカ意ルよいてはを、を  
 会 すマテ員ラ・謝一と広い心長し議  
 国 まサ東議アルくモも幅ひ、議と参  
 の いら、る・ウ深イは層、をヨ歩、い、共皆し私  
 本 て、りめ、デ・トにテ流一にとジ一きすしに主のりるざ  
 日 え般よ進マ・ア表東交が進こウのたま美域国民祈けご  
 る 考今にをマサた代のの援促るラそたげ、地ル国おおう  
 あ と、プ流ラし特別れ問支のすア、い上げ、の一てうにと  
 に かにイ交。献特わ盟力係与・はししんこもしよ会が  
 期 いとテのす貢長れ連協関寄デに越申さるイそる議り  
 熟 なこアとまに総わ員た好に・んお請皆誇テ、れ民あ  
 成 はなシ会い足務の議じ友栄マさに招にを東うさ国聴  
 ば ばでいニ議て発事回の通の繁サ皆本にび然るよ受ル清  
 わ の幸イのっの連今者を国とラの日式結自誇る享一ご  
 いる の本伺そ国 両流両定 員に公 いをれをモ